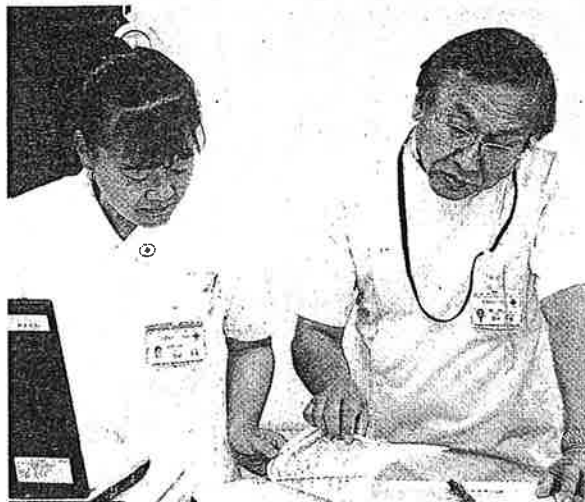


今月稼働を始め
た3S病棟で看
護師に指示をす
る駒井医師(右)



妊婦の不安サロンで解消

安曇野日赤 26日から毎月1回

安曇野赤十字病院 産婦人科部長の駒井(安曇野市豊科)は、宏医師の話と、助産師・栄養士を交えた妊婦を対象に「妊婦サロン」を始める。平成25年度中の再開を目指す分、妊娠が分かった直後から出産1年後くらいまでの参加を見込む。科の医師や助産師、栄養士が出産の知識を伝えながら悩み事の相談に応じ、安心して出産に臨めるようにする。26日に第1回のサロンを開く。

産婦人科部長の駒井宏医師の話と、助産師・栄養士を交えた妊婦同士の座談会で構成する。開催は月1回で、妊娠が分かった直後から出産1年後くらいまでの参加を見込む。科の医師や助産師、栄養士が出産の知識を伝えながら悩み事の相談に応じ、安心して出産に臨めるようにする。26日に第1回のサロンを開く。

病院は産婦人科のスタッフを増やしており、5月に婦人科の手術を再開、今月には婦人科を含む「3S病棟」が稼働を始めた。近く、院内に「分娩再開プロジェクトチーム」を設け、受け入れ再開の目標時期などを詰める。

「妊婦サロン」は参加無料だが事前の申し込みが必要。問い合わせは病院の外来Bフロ

事にも対応する。核家族化で悩みを相談できる人が少ない妊婦も多く、駒井医師は「出産前後の大変さや不安をケアしたい」と話す。

ック(☎0263・72 半に受け付け)へ。
・3170、内線11
73、午後1時～4時
(小坂 功)